

第 95 回 ITER 機構職員募集説明会開催報告

1. 日時・場所

平成 29 年 2 月 24 日（金）

キャンパスプラザ京都（核融合エネルギーフォーラム第 10 回全体会合）

2. 来訪者 10 名程度

3. 説明概要

核融合エネルギーフォーラム第 10 回全体会合 説明会会場において、ITER に関するポスターの展示並びに資料を配布し、ITER 計画について説明および ITER 機構職員募集を行った。（ITER 統合支援グループ大原、ITER 計画管理グループ 會澤）

4. 主な Q&A

Q：ITER はいつ完成しますか？

A：現在、トカマク複合建屋や本体組立建屋の建設が進められています。また、最初のプラズマは 2025 年に点火される予定です。

Q：ITER 機構職員の勤務地はどこですか？

A：ITER 機構職員の勤務地は、フランス南部のサン・ポール・レ・デュランスです。サン・ポール・レ・デュランスへは、パリやアムステルダム空港を經由し、最寄りのマルセイユ空港へ、そこから車で 2 時間ほどの場所に ITER サイトがあります。ITER 機構職員はエクサンプロバンスかマノスクに滞在し、そこから自家用車や ITER 機構のバスで通勤しています。



Q：3 年間の職務経験は必要ですか？

A：大学新卒などで ITER 機構への就職はほぼありません。専門職員であれば、少なくとも 3 年の実務経験が求められますので、企業や研究機関で実務経験を積んでから ITER 機構の職員になるというのが一般的です。一方、モナコが出資して参加極からポスドクを募集する制度（ポスドク・フェローシップ）があります。職員募集ではありませんが、学生の方々にも門扉は開かれていますので、ぜひ応募を検討して頂きたいです。これは ITER 機構で 2 年間、実際に ITER を研究開発している先進の科学者・エンジニアの下で、核融合研究プログラムに参加する機会です。募集は 2 年ごとにされています。応募するためには、応募締切日より 2 年以内に博士課程を卒業していることが必要です。また、この他に ITER 機構が募集をしているインターンシッププログ

ラムもあります。インターンシップでは、各自の研究分野において実践的な経験を得る機会を提供しています。こちらの募集は随時されていますので、ぜひご応募をご検討ください。

Q：ITER 機構では実際どのような仕事をするのですか？

A：ITER 機構が募集するポストは、核融合に関する研究実績がある研究者・技術者ばかりではなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。また、人事や財務、契約などの事務系の職員も募集しています。募集ポストの Job Details に記載された職務経験や専門性をご覧いただき、ご自分の職歴・専門性に合致するポストに積極的に応募してください。

5. 展示会の様子

